

<今回>3482回目 2024年5月65日(月)14時~17時 6021会議室

読書は10冊目「失われた九州王朝」再読朝日文庫 p558510、邪馬壹国の領域両者は対等位置 より

<前回>347回14目(24-41-2229)出席者99名

資料1) ~~(2-3-1)~~第3480回(24-41-2229)のまとめ(清水)

資料2) 銅鐸国と東鯉国(清水)、百濟人祢氏の墓碑銘(気賀沢、岩田、清水)

資料3) 天藍元年(502年)の降号問題

資料3) 隅田八幡神社鏡銘(古田、榛葉)

資料4) 朝日新聞1月24日れきし歩き岩戸山古墳(高木)

A 報告 地元横浜「泉区歴史の会」で、年1回の郷土誌、郷土いずみ野の作成に協力している。郷土に直接かわらなくても、ないか気楽に書いてくれと言われて「日本の名の起こり」と題して A5 版、2頁以下の文章をまとめてみたが、本当に難しい。私は新羅本紀の670年説を取っているが、継体天皇死亡時(531)日本天皇・太子・皇子が一度に崩薨は省いた。百濟本紀の引用である。百濟三史にまで話が及ぶ。伝承と三年の差がある。やはり難しい。百濟祢軍墓誌の日本をだした。占領軍と使用したら、質問が来た。まとったら報告する。金曜webで服部氏が藤原不比等の過大評価説に疑問を呈する発表があった。各種資料を用いて、説得性が高い発表であった。私は「多胡碑」に不比等の名前が出てると質問した。いろんな資料から関西の服部氏が不比等の権力基盤についての考察が論理的だったのを受けて質問した。多胡碑については後日丁寧な紹介を受けた。「羊」は周圜が郡司に任命されたのを疑問視しているのを、打ち消すために、上位3名の最下位(第3位)の不比等の名を出したのは、中央政界で最大の実力者と評価されていたのではないかという意味で質問した。

書式変更: インデント: 最初の行: 4 字

B資料 2) 銅鐸についての日本書紀の認識、東鯉国の行方などから、銅鐸圏との関係を示唆したが決定的ではない。3) 梁の武帝即位の時の冠位について。四方の蛮族たちに官位を与えたが、倭王武には征東將軍に任じた。これは降号ではないかと倭王武は感じたのではないか。それから中国大陸政権と一線を画した外交をしたのではないかと感じた時の文章を紹介した。①大將軍の大が書き渡らただけというのが単純な意見、②征東將軍は安東大將軍より格上かもしれない。③そもそも倭王武は親書を出していないのではないか、梁が一方的に建国のお祝いの大判振る舞いをしたのではないか。④六国諸軍事の称号がない、単に征東將軍倭王だけである。半島に権益の主張をしていたのを取りあげたのではないか。私は④説を取りたい。料-2) その席上、配布を受けた、「百濟祢軍墓碑銘」の解説状況が解説されていたので紹介した。発見当時、古代「日本」の呼称の最古の金石文と云う報道があった。が祢軍は白村江の占領軍の一員として日本書紀に
も名前が出ている。弟の墓碑は西安から出ていて北京博物館に現在保管されているという。扶桑の文字もある。660年百濟が滅亡した時に唐に降伏して、唐の下級將軍として、活躍した。出所は北京の古物商から、拓本として出てきたもの、解説の様子を書いてある。最初の公表は2012年3月である。明治大学の気賀澤氏が発表した。朝鮮の軍將が一族、内陸の西安に墓標があると言うのは、朝鮮問題が片付いて、内陸地の兵隊の長に任命されていたのではないと推定される。封禪の儀の倭国酋長は誰であったか、サチヤマか。

書式変更: インデント: 左 0.16 字, 最初の行: 0 字

書式変更: インデント: 左: 0 mm, 最初の行: 0 字

~~3) 榛葉氏より、隅田八幡神社の順佛画像鏡の解説の原史量として配布された。左文、読み方などの参考になる。皆で画像を透かして見て、左文の意味を味わった。丁度今、読書している最中である。~~

~~4) 高木氏が朝日新聞24日の記事を紹介してくれた。新聞記者の文章は巧く現状をまとめている。磐井について岩戸山古墳が彼の墳墓と確定された経緯や、別区の裁判制度の評価など、話題になった。更に古田先生は何故「磐井継体戦争はなかった」論に変更されたか、調べることになった。~~

~~6~~

読書 朝日文庫版:p552506、狗奴国の拠点、9行目、なお井上光貞は から

~~(1)——1) 女王の境界の尽くる所を記した直後、「その南に狗奴国あり、男子を王と為す」。隅田八幡神社の人物画像鏡の読み方について、水野裕の説に賛同したが、日十を八月十日の意味に採った。理由は「倭の五王」を日本書紀の允恭にして、癸未年は443年とした。忍坂之夫中津比売を意柴沙加宮とした。「寿」は「泰」である。①字形判定—左右対称に近い。泰か泰の左文か、直後の「遺」は左文である。(左文とは裏返しにした文字の用法、刻むのは困難、左右逆になる。)②対等の論理、従来説は大王・男弟王=天皇、斯麻を配下の人物に当てていた。③「遺」の用例を多数出している。遺(使者)+敬語(奉、朝、献)の動詞。この鏡の場合は取、作の動詞で敬語表現がない。高橋健自氏は念長寿を年長奉と判読して—を奉ると読解した。(在銘最古日本鏡大正3年)がこのような文型は存在しない。敬語は遺の下に来る文例を上げた。南の方角の起点が不明。~~

~~2) 従来説は熊本県南部に当てられてきた、①熊襲の根拠地。②クマとクナの音の似ている事。③狗奴国の官の名前、狗古智卑狗は菊池彦に通じ、肥後菊池郡にちなんだ人名、官名。~~

~~3) これらの人名、官名、地名を無批判に接合する。其の際生じた発音対応の無理を。切り捨てる。倭の五王の比定などにつながるとして、史料上の根拠を持たないとした。(南の方を重視していない、後漢書が東と云っているから、先取りして、論の用心をしている)~~

~~4) 30か国のうち21か国は国名のみ、位置関係はない。中国四国のやや東寄りと漠然としているが、邪馬壹国と戦闘状態に入っていて、苦戦しているから狗奴国をかなり大国と想定している。~~

~~5) 後漢書の范曄の狗奴国観①後漢書倭伝(倭国伝ではない)は今(東晋)の知識を優先する。三国志は引用できない。晋時代の新しい知識で、「東千里」と書いた。しかも千里は長里という。~~

~~会員から倭国と30か国統合の国、女王国の関係、卑弥呼の固有の支配地、中国大陸側は倭国か倭国の一部かの認識はどうかと質問が出て、議論があった。~~

書式変更: インデント: 左: 0 mm, 最初の行: 0 mm

書式変更: インデント: 最初の行: 1 字

~~—2024—2—5(月) 14時から17時 601会議室~~

~~—2—19(月) 14時から17時 602会議室 5—5—20(月) 14時から17時 602会議室~~

~~—6—3(月) 14時から17時 601会議室~~

書式変更: インデント: 左: 6.3 mm